

別表（VI）高等学校教諭一種免許状（公民）取得希望者の単位修得方法（昼間コース）

令和5年度入学者

○免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			備考
		授業科目	必修	選択	
日本国憲法	2	憲法・基礎Ⅰ 憲法・基礎Ⅱ	2 2		
体育	2	健康スポーツⅠa 健康スポーツⅠb 健康スポーツⅠc 健康スポーツⅡa 健康スポーツⅡb 健康スポーツⅡc (スキー) 生活と健康	1 1 1 1 1 1 2		健康スポーツから1科目以上選択必修
外国語コミュニケーション	2	英語ⅠA 英語ⅠB	1 1		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	情報機器概論	2		

○教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、	総合的な探求の時間の指導法	8	「総合的な学習の時間」指導法	1	
	特別活動の指導法		特別活動論	1	
	教育の方法及び技術		教育方法	2	「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」を含む。
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」を含む
教育実践に関する科目	教育実習	3	事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	1 2	※1
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	
合計単位		23		24	24単位必修

### ○教科及び教科の指導法に関する科目

○大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考	
	授業科目	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	「教育の基礎的理理解に関する科目等」「教科及び教科の指導法に関する科目」参照	/	12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理理解に関する科目等」について、併せて <u>12単位以上</u> を修得すること。	

### 備考：

- 「教育の基礎的理解に関する科目等」のうち、免許法施行規則に定める最低修得単位数（23 単位）を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位に含める。
  - 「教育の基礎的理解に関する科目等」のうち「教育実習Ⅰ」は、「大学が独自に設定する科目」の単位として含めることができる（※1）。
  - 「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「憲法Ⅱ」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」は、いずれか 1 科目（4 単位）を選択必修とする（※2）。
  - 「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち 24 単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位に含める。
  - 「教育の基礎的理解に関する科目等」のうち、別表（I）～（VI）において重複して開設している授業科目については、それぞれの表において併用できる。
  - 「免許法施行規則第 66 条の 6 に基づき本学が開設する科目」（※「情報機器概論」を除く）及び「教科及び教科の指導法に関する科目」（※「社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ」を除く）は、それぞれ所属する学科の卒業所要単位と併用できる。